



武蔵野線アートライン・プロジェクト連携協議会



2026年10月1日
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社サステナブルタウン
一般社団法人こだいら観光まちづくり協会
特定非営利活動法人府中観光協会
一般社団法人こくぶんじ観光まちづくり協会
東村山市
公益財団法人東京観光財団

駅がギャラリーに。武蔵野線沿線でアート展開、完成イベント 「MUSASHINO ART RAILWAY FESTIVAL」キービジュアル部門決定！

- 東日本旅客鉄道株式会社 武蔵野事業本部（武蔵野事業本部長：糸井 孝行）は、関係自治体、企業、団体で構成する武蔵野線アートライン・プロジェクト連携協議会の一員として、武蔵野線沿線を舞台に展開するアートプロジェクトを進めています。
 - この度、武蔵野線東京区間の4駅（北府中駅、西国分寺駅、新小平駅、新秋津駅）のキービジュアル部門のアーティストが決定しました。
 - 2026年10月10日（土）・11日（日）の2日間、キービジュアル部門※1とシンボリックアート部門のアート作品の完成を記念し、各自治体とアート設置駅周辺において完成記念イベントを実施いたします。
- ※1：駅に特設ポスターフレームを設置しアート作品を掲出します。

1 キービジュアル部門の選出について

キービジュアル部門では、「あなたのまちの武蔵野線」をテーマに募集を行い、15件の応募がありました。武蔵野線沿線の特性や公共空間との親和性、地域との関係性を重視した審査を実施し、4組のアーティストを選出しました。応募作品では武蔵野線沿線の駅やまちの風景、武蔵野線の車内からの景色、線路や駅舎、人の営みなど様々な「あなたのまちの武蔵野線」を表現しています。

選出された作品は、各駅に設置する特設ポスターフレームに掲出し、駅をご利用いただくお客さまや地域の皆さまに、武蔵野線と沿線地域の新たな魅力を発見していただく機会を創出します。本プロジェクトにご応募いただいたすべてのアーティストの皆さまに心より感謝を申し上げます。

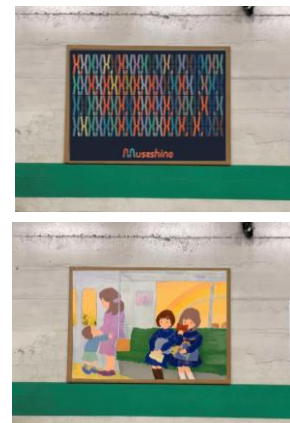
2 アーティスト・作品紹介

各アーティストは、武蔵野線の風景や、その地域性を起点に作品を構想しています。選考によって選ばれたアーティストと作品（応募時点）、各駅の設置場所は以下の通りです。

なお、全ての作品イメージは応募時点のため、題名を含めて変更になる可能性があります。

作品設置箇所（各駅2か所）

設置駅	設置箇所
北府中駅	改札外2階エレベーターホール
西国分寺駅・新小平駅・新秋津駅	武蔵野線ホーム壁面



特設ポスターフレーム（イメージ）

■北府中駅 (作品名) ゆめとみらい



アーティスト：中田 順

東京都府中市出身・在住。保育士として働きながら、子どもも大人も楽しめる童画作品を制作。柔らかな感性で日常の風景や人々のつながりを描き、多くの人に親しまれる作品を生み出している。武蔵野線沿線で育ち、美術を学んだ青春時代にも利用した思い出深い路線への感謝を込め、本作品で地域の魅力と温かさを表現している。

■西国分寺駅 (作品名) 『此方 -konata-』



アーティスト：懸谷 直弓

美術作家。コロナ禍をきっかけに、日常の中のささやかな幸せを見守る神様を描くシリーズを制作している。武蔵野線に親しんできた経験を背景に、本作品では、西国分寺の歴史や文化をモチーフに、駅を行き交う人々を見守る守り神を表現。「此方」から「彼方」へと向かう人々の往来を温かく見守り、日々の安心と幸せへの願いを込めている。

■新小平駅 (作品名) 視界の展開 | 01



アーティスト：岡橋 明

デザイナー・美術教育者。市民生活や都市空間、地域のアイデンティティをテーマに、パブリックデザインやアート制作に取り組む。武蔵野線沿線で暮らし、新小平駅を利用して通勤していた経験を持つ。本作品では新小平駅を多視点から観察・再構成することで、駅の構造や光の移ろい、身近な自然が織りなす独自の風景を描き日常に潜む魅力の再発見を促している。

■新秋津駅 (作品名) Akitsu New: Chiasma



アーティスト：加藤 弥生

アーティスト・横浜美術大学准教授。人と地域、人と人とのつながりをテーマにデザインやアートを通じた表現活動を行っている。所沢市で育ち、幼少期から新秋津駅周辺に親しんできた。本作品では、武蔵野線が人や場所を結ぶ存在であることに着目し、「キアズマ (Chiasma)」をモチーフに制作。新秋津駅がこれからも大切な人や場所をつなぐ拠点となっていく姿を表現している。

※各駅2枚組作品のうち、1枚を掲載しております。
掲出する作品につきましては今後変更する場合がございます。

3 関連イベントについて

開催日：2026年10月10日（土）・10月11日（日）

イベントは様々な場所で実施を予定しています。詳しい時間や開催場所は各団体のHPまたはMUSASHINO ART RAILWAY FESTIVALのHPをご覧ください。

詳細は準備でき次第掲載します。募集が終了している場合もございます。

リンク：[TOP](#) | [MUSASHINO ART RAILWAY FESTIVAL](#)

○府中市

10月10日～11日	パネル展「府中の2つの駅に、2つの物語」
10月10日	パートナープログラム 歩いて知ろうわがまち府中！2026 1 day イベント
10月1日～31日	パートナープログラム 歩いて知ろうわがまち府中！2026 デジタルスタンプラリー

○国分寺市

10月8日～12日	崖の水とみどりの作品展
10月10日	ガイドと共に史跡巡り・薬師堂御開帳ツアー
10月11日	自然とアート/崖の水とみどりの作品展を巡るツアー
10月11日	西国分寺駅を彩る公認アーティスト トークセッション
11月21日～11月29日	パートナープログラム てのわ森の中美術館2026

○小平市

10月10日	一糸座 糸あやつり人形「三番叟」＋アーティストトーク
10月10日～11日	アート×観光 2つの視点で小平を見つめるコラボトーク
10月10日～11日	アートフェスの裏側展

○東村山市

10月11日	「ひがっしー」と一緒にシンボリックアートの前で写真を撮ろう！
--------	--------------------------------

4 スタンプラリーについて

MUSASHINO ART RAILWAY FESTIVALの開催にあわせて、5駅を巡るスタンプラリーを実施します。駅スタンプを集めながら武蔵野線沿線の地域の魅力やアート作品をお楽しみください。

- 開催日：2026年10月10日（土）～10月11日（日）
- 対象駅：府中本町駅、北府中駅、西国分寺駅、新小平駅、新秋津駅
- 参加方法：対象駅に設置されたスタンプラリー専用台紙で参加
- 景品引換駅：北府中駅 改札外特設会場
- 景品引換日時：2026年10月10日（土）15:00～20:00
11日（日）10:00～15:00
- 景品内容：鉄道に関するちょっぴりプレゼント（先着順、無くなり次第終了）
- 景品引換条件：スタンプラリー専用台紙の3か所以上を埋めた方に景品をお渡しします。
※「あなたが見つけた武蔵野」には沿線の好きな場所や景色、体験や思いなどご記入ください。



駅スタンプ



台紙パンフレット（イメージ）

5 武蔵野線アートライン・プロジェクトとは

武蔵野線沿線の駅空間を活用し、武蔵野線をアートで彩り、地域の魅力発信と沿線価値の向上を図る取り組みです。駅を起点とした、沿線地域の魅力発信や賑わい創出に加え、日常の移動の中にアートをきっかけとした新たな気づきや出会いを生み出すことを目指します。

主催：武蔵野線アートライン・プロジェクト連携協議会

構成：東日本旅客鉄道株式会社 武蔵野事業本部、
株式会社サステナブルタウン、一般社団法人こだいら観光まちづくり協会、
特定非営利活動法人府中観光協会、一般社団法人こくぶんじ観光まちづくり協会、
東村山市シティセールス課、公益財団法人東京観光財団

※2026 年 10 月時点での情報です。

※画像はすべてイメージです。